

第3学年 社会科学学習指導案

日時 令和6年 6月 5日(水) 13:35~14:20

教室：2階 3年1組

指導者：大田区立入新井第五小学校 馬場友博

1 単元名 「大田区の様子」 (17時間)

2 単元の目標

身近な地域や大田区の様子について、東京都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して問いを見いだし、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめ、身近な地域や区の様子を捉え、場所による違いを考え、適切に表現することを通して、身近な地域や自分たちの区の様子を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

3 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①東京都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域や区の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、身近な地域や自分たちの区の様子を大まかに理解している。	①東京都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見いだし、身近な地域や区の様子について考え、表現している。 ②場所ごとの様子を比較したり、土地利用と地形的な条件や社会的な条件を関連付けたりして、区の様子は場所によって違いがあることを考え、適切に表現している。	①身近な地域や区の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 目指す子供像

本単元では、始めに地図と実際の地域の様子を比較することで、地域の様子を理解する。そして、そこで活用した視点を基に、大田区の様子を調べる。そうすることにより、大田区や身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、自ら問いをもち、社会科学学習を主体的に追究していこうとする子供を育てたい。

5 教材について

本単元は、区の位置や地形、土地利用、交通の広がり、公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などを基に、身近な地域や区の様子を大まかに理解する単元である。そこで、本単元では、身近な地域として入新井第五小学校の周り（東京都大田区大森北）、区市町村として大田区を取り上げる。

大田区の地形の特徴として、東は海に近く、土地の高さは低く、西は土地の高さが比較的高い。また、東には埋立地が多くあり、それぞれ飛行場や工場、物流の拠点として使用されている。さらに、住宅地やお店も多くあり、駅の近くに商店街がある地域が少なくない。交通では、JR線、東海道新幹線、京浜急行線、東急電鉄、東京モノレールなどの鉄道をはじめ、首都高速道路、東京国際空港（羽田空港）などの交通網が広がっている。公共施設としては、区役所は3度の移転を経て、1998年から現在のJR蒲田駅付近にあり、区民館や図書館は大田区内の各地にあり、区内のたくさんの人が利用できるようになっている。

このように、大田区には空港があるという特色があるため、交通の広がりを生かして、子供が見方・考え方を働かせることのできる資料提示や発問をしていきたい。

6 小単元の構成

学習経験	<p>第2学年生活科「まちたんけん」では、学校の周りを実際に歩くことで、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かった。また、自分たちの地域について、人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさについても分かったところである。本単元では、この経験を生かし、始めに地図と実際の地域の様子を比較することで、地域の様子を理解する。そして、そこで活用した視点を基に、大田区の様子を調べる。そうすることにより、大田区や身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、自ら問いをもち、社会科学習を主体的に追究していこうとする子供を育てたい。</p>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

過程	子供の主体的な問題解決の側面から			社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方		見方・考え方を 働かせる資料	子供が獲得できるように したい知識
つかむ	<p><学習問題をつかむ問い> ・大田区は東京都のどこにあるのだろうか。 ・入新井第五小学校の近くはどのような様子なのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の白地図 ・東京都の白地図 ・地域の様子が分かる写真や動画 ・Google マップ ・見学 ・身近な地域の白地図 	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区は、東京都の東側で海沿いにある。 ・身近な地域は、場所によって様々な様子がある。
学習問題	大田区は、どのような様子なのだろうか。				
しらべる	<p><しらべる問い> ・大田区の地形は、どのようになっているのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の地形図 ・大田区の断面図 ・田園調布や池上本門寺からの高低差が分かる写真 	<ul style="list-style-type: none"> ・西の方は比較的高い土地が多い。 ・東の方は土地が低く、海がある。
	<p>・「カクカクゾーン」はどのようなところなのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立地の拡大地図 ・埋立工事の画像 ・羽田空港の写真 ・京浜島の写真 ・京浜島と昭和島の人口 	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立地は、人工的に造られた広くて平らな土地である。 ・大きな道路や空港、工場などがある。
	<p>・「くねくねゾーン」は、どのように使われているのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の土地利用図 ・住宅地や工場、商店街などの写真 	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区は住宅地が多い。 ・場所によっては、工場が多かったり、店集まったりしているところがある。
	<p>・大田区の交通は、どのように広がっているのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の交通の地図 ・大田区の地形図 	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区には鉄道、モノレール、高速道路、大きな道路、飛行機、船などの交通が広がっている。
	<p>・大きな道路や駅の近くの土地は、どのように使われているのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した土地利用図 ・作成した交通の地図 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の周りや大きな道路沿いに店が集まっているなど、地形と土地利用を繋げて考えると、新しいことが分かる。
	<p>・大田区の公共施設は、どこにあり、どのような役割があるのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の公共施設の分布図 ・公共施設の写真 ・作成した交通の地図 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR蒲田駅の近くには区役所がある。 ・いろいろな場所に散らばって多くの公共施設があり、どこに住んでいる区民でも利用しやすいようになっている。
	<p>・大田区内の古くからある建物は、どこにあり、どのようなところなのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の地図 ・池上本門寺、穴守稲荷神社の鳥居の写真 ・作成した交通の地図 	<ul style="list-style-type: none"> ・お寺や神社などの建物が古くから大切に残されている。
	<p>・大田区内の各地域の様子は、実際はどうなっているのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・工場アパートテクノフロント ・池上本門寺 ・穴守稲荷神社 	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区は、場所によって様々な特徴がある。 ・西の方は高く、東の方は低い。 ・住宅地が多い。
まとめる	<p><特色や意味を考える問い> ・大田区にはどのようなところがあり、どのような様子なのだろうか。</p>	←	→	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをガイドマップに整理して大田区の様子を考え、記述したり、話し合ったりする学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区は、場所によって様々な特徴がある。 ・地形や交通などは土地利用と深い関係がある。

7 研究内容との関連（研究主題に迫るための手だて）

(1) 主体的に問いを追究する工夫

○「身近な地域」を見学調査で確かめ、自分で問いを追究する

3年生は社会科の入門期である。その子供たちにとって、初めての調べる活動となる「地域探検」を重視することとした。入新井地区のまちの特徴となる事柄について、「何が多い地域なのか」という問いと予想を大切にしながら、「ほかの地域はどうか」、「大田区全体ではどうか」という問いが広がっていくように単元や問いの構成を工夫した。また、地図で調べたことが実際はどうであるか調べるために、「地域探検」を位置付けた。その際は、子供は、一人一台端末のカメラ機能を活用して地域の様子を撮影する。

そうすることで、「地域探検」の振り返りの際に、写真と見比べ、実体験を伴った振り返りになるようする。

(2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

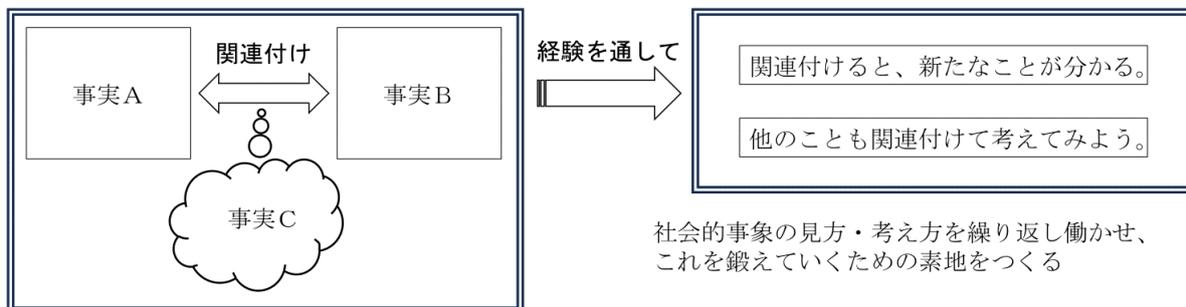
○「交通の広がり」を軸とした、関連付けて考える活動を通して

社会科の入門期である3年生にとって、学習した社会的事象を比較・分類したり総合したり、関連付けたりすることが特に重要であると考え。そこで、着目する視点ごとに、白地図にまとめる活動を毎時間行う。そうして、まとめた白地図を重ねたり、比べたりするなどの体験的な活動を通して、交通と土地利用、交通と公共施設など、交通を軸として関連付けることにより、区内の様子は場所によって違いがあることやその理由を具体的に考え、より質の高い学びを期待することができると考える。関連付けて考えるためには、調べた社会的事象を確かな事実として理解しておくことが必要である。そのため、地形や土地利用、交通の広がりについて白地図に表し、大まかな様子について事実認識を確かに捉える活動を、各一時間の中で行う。その後、それらを基にしてじっくり考える活動を一時間設けることとする。そうすることで、これまで学んできた個別の社会的事象を繋げることで、新たに分かることがあるという認識を子供がもてるようにしたい。

この認識を醸成することで、他の内容や他学年においても同様に、意欲的に社会的事象を捉えようとする子供を育てることができると考える。



【図1】
一人一台端末を用いて、道路の広さを歩道橋から記録している様子



【図2】子供が社会的事象の見方・考え方の認識を醸成していく過程のイメージ

(3) 子供の学びを確かにする評価の工夫

○子供の具体的な姿を想定し、全ての子供がおおむね満足できる状況に達するための支援の明確化

評価の観点や方法に加え、子供の記述や学習の様子を具体的に想定した。その想定を基に全ての子供がおおむね満足できる状況に達するように、授業中に行う支援を明記した。そうすることで、子供がより学習に主体的に取り組むことができる授業を計画したり、困っている状況を抱えている子供への支援を円滑に行ったりすることができるようになる。さらに授業後の支援を明確にすることで、1時間ごとの学びを確かにし、学びに対する意欲を継続できるようにする。さらに、授業後には、子供の記述を基に自己の授業や作成した評価計画は適切であったかを振り返り、次時の学びの指導改善に生かした。

8 単元の指導計画 (17時間扱い)

	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	□教師の手だて 【評価】 ◎資料
つかむ	東京都における大田区の位置を理解するとともに、四方位の表し方を理解する。①	○白地図を基に、大田区の形を捉える。 ◆大田区は、東京都のどこにあり、近くには何があるのだろうか。 ●地図帳を使い、四方位と地図記号について調べる。 ・警察署、消防署、神社、図書館、博物館、美術館、城跡、温泉、田、畑、果樹園、橋、鉄道、小学校・中学校、郵便局、病院、寺、市役所 ●東京都の地図から大田区がどこにあるのかを探す。 ・大田区は、東京都の東側にある。 ・大田区は、海沿いにある。	◎大田区の白地図 ◎地図帳 ◎東京都の白地図 【知技①】ノートの記述内容から「都内における大田区の位置や四方位の表し方を理解しているか」を評価する。
	学校の周りの様子を、視点に沿って調べ、身近な地域の様子を理解する。②③④	◆学校の周りほどの様子なのだろうか。 ○第2学年の「まちたんけん」の経験を基に、何があるのかを予想する。 ・お店が駅前に多かったな。 ・学校の周りは、家がほとんどだった。 ○学校の屋上から見えるものを調べる。 ●身近な地域の地図や Google マップを基に、どこに何があるのかを調べる。 ○見学（徒歩での地域探検）を通して、身近な地域の様子を調べる。 ●見学したことと、地図で調べたことを比べて気が付いたことを出し合う。	◎入新井第五小学校の校歌の歌詞 ◎学区の地図 ◎Google マップ □地形、土地利用（商店や住宅）、交通（鉄道・交通）、公共施設（公園・子供館）、古くからある建物（神社）などの視点をもって、調べられるように助言する。 【知技②】ノートの記述内容から「身近な地域の様子を白地図にまとめることを通して、場所によって様々な特徴があることを理解しているか」を評価する。
	大田区の様子について予想をし、学習問題をつくり、予想を分類して何を調べたらよいかを考え、学習計画をたてる。⑤⑥	◆大田区の様子は、どのようになっているのだろうか。 ●大田区の様子について予想し、疑問を出し合い、学習問題をつくる。 ・海に近いので、平らなところが多いのではないか。 ・たくさんの人が住んでいるので、家が多いのではないか。 ・空港や東京都の中心に近いので、鉄道や道路がたくさんあるのではないか。 ・古くからある建物は、お店や家を建てるために、ほとんどないのではないか。	◎大田区の白地図 【思判表①】ノートの記述内容から「区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布に着目して、問いを見いだしているか」を評価する。
学習問題：大田区は、どのような様子なのだろうか。			
		○大田区の様子を予想した白地図を基に、何を調べたらよいかを考え、学習計画を立てる。 ・調べること 地形、土地利用、交通、公共施設、古くから残る建物	【態度①】発言やノートの記述内容から「学習計画の作成を通して学習の見通しをもってしているか」を評価する。
しらべる	大田区の地形の様子を調べ、大田区は西は高く、東は低いこと、池や川があり、海と面していることを理解する。⑦	◆大田区は、どのようになっているのだろうか。 ●地形図を基に、大田区全体の土地の様子を調べる。 ・西は土地が高く、東は土地が低い。 ・大田区には多摩川や呑川が流れている。 ・東の方は海がある。 ・大田区の境をなぞると、西はくねくねしていて、東はカクカクしている。 ・場所によって、いろいろな地形の様子がある。	◎Google マップ ◎地形図 ◎田園調布や池上本門寺の高低差のある写真や多摩川、洗足池の写真 【知技①】ノートの記述内容から「大田区について地図などの資料から情報を集め、読み取り、西は高く、東は低いことや池、川があり、海と接していることを理解しているか」を評価する。

<p>大田区の埋立地の様子について調べ、埋立地は人工的に造られた土地であり、広く平らで、空港や工場などに使われていることを理解する。 ⑧</p>	<p>◆大田区の東にある「カクカクゾーン」は、どういふところだろうか。 ○地図中の昔の海岸線を読み取り、「カクカクゾーン」はどのようにしてできた土地なのか、予想する。 ・海がなくなってできたのではないか。 ・人が造ったのではないか。 ○埋立工事の様子から、埋立地がどのように造られているのかを調べる。 ・土を埋めて造っている。 ・自然にできたのではなく、人が埋め立てて造っている。 ●埋立地には、どのような建物があるのかを、航空写真や地図を基に調べる。 ・大田市場 ・東京国際（羽田）空港 ・工場 ・公園 ・森ヶ崎水再生センター ・団地倉庫 ・コンテナ倉庫 ・コンテナ埠頭</p>	<p>◎埋立地の拡大地図 ◎埋立工事の画像や動画 □子供が予想を立てた後に、埋立工事の様子を示す画像を見せることにより、埋立地とは人が土などを埋めることによって人工的に造られた土地であることを理解できるようにする。 ◎埋立地の地図 ◎埋立地の航空写真（Google Earth） 【知技①】ノートの記述内容から「埋立地について地図などの資料から情報を集め、読み取り、埋立地は人工的に造られた土地であり、広く平らで、工場やコンテナ置き場、倉庫などに使われていることを理解しているか」を評価する。</p>
<p>大田区の土地利用の様子について調べ、大田区の土地は住宅や店、工場などに使われており、特に住宅に使われていることが多いことを理解する。 ⑨</p>	<p>◆大田区の西にある「くねくねゾーン」は、どのように使われているのだろうか。 ●土地利用図を基に、「くねくねゾーン」はどのような使われ方をしているのかについて調べる。 ・家がとても多い。 ・家、工場、お店の順番に多くある。 ・学校はいろいろなところに散らばっている。 ○土地利用図を基に、土地利用の傾向を考える。</p>	<p>◎地形図 ◎土地利用図 ◎住宅地や商店街、工場の写真 【知技①】ノートの記述内容から「大田区の土地利用について地図などの資料から情報を集め、読み取り、住宅や店、工場などがあり、特に住宅が多いことを理解しているか」を評価する。</p>
<p>大田区の交通の広がりについて調べ、大田区には様々な交通網があり、区内外に向けて広く行き渡っていることを理解する。 ⑩</p>	<p>◆大田区の交通は、どのように広がっているのだろうか。 ●大田区の地図を基に、大田区の交通の広がりについて調べる。 ・環八通りや環七通りが東西に、第一京浜や第二京浜は南北にそれぞれ伸びている。沿岸には首都高速湾岸線が通っている。 ・鉄道は蒲田駅を中心に大田区中に広がり、他の区や県をつないでいる。 ・羽田空港があり、日本全国や世界とつながっている。</p>	<p>◎交通の地図 【知技①】ノートの記述内容から「交通の広がりについて、地図などの資料から情報を集め、読み取り、大田区の全域に交通網が広がっており、区内外のみならず、都外や国外にもつながっていることを理解しているか」を評価する。</p>
<p>大田区の土地利用と交通の広がりに関連付け、それらの特徴や様子について考える。⑪</p>	<p>◆大きな道路や駅の近くの土地は、どのように使われているのだろうか。 ●「くねくねゾーン」の大きな道路や駅の近くの土地は、どのように使われているか調べ、気が付いたことを、グループや全体で共有する。 ・駅の周りに店が集まっている。 ○「カクカクゾーン」の大きな道路や駅の近くの土地は、どのように使われているか調べ、気が付いたことを、グループや全体で共有する。 ・高速道路の近くに大田市場がある。</p>	<p>・土地利用図 ・交通の地図 【思判表②】ノートの記述内容から「大田区の交通の広がり」と土地利用と関連付け、場所ごとの様子を考え、調べたことや考えたことを表現しているか」を評価する。</p>
<p>大田区の公共施設の場所とその働きについて調べ、公共施設は区内全域に広がっていることを理解する。⑫</p>	<p>◆大田区の公共施設は、どこにあり、どのような役割があるのだろうか。 ●公共施設の分布と役割を調べる。 ・子供館 ・図書館 ・警察署 ・交番 ・消防署 ・消防署出張所 ・大田区内のいろいろな所に図書館や子供館、交番、消防署出張所がある。 ・区役所は大田区内の一つだけある。 ○公共施設は大田区内のどのような所にあるのか、交通などと関連付けて考える。</p>	<p>◎公共施設の分布が分かる地図 ◎公共施設の写真 ◎交通の地図 □交番や消防署出張所の分布を調べたのちに、なぜ様々なところにあるのかを問うことで、住民の安全を守るために広く行き渡るようにしていることについて思考を広げ、内容（3）の学習に繋げられる</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署は、大きな道路沿いにある。 ・区役所は、鉄道が多く集まる蒲田駅のすぐ近くにある。 	<p>ようにする。</p> <p>【知技①】 ノートの記述内容から「大田区の公共施設の場所とその役割について、地図などの資料から情報を集め、読み取り、大田区の公共施設はそれぞれ大切な役割があり、区民が利用しやすいように広く行き渡っていることを理解しているか」を評価する。</p>
大田区にある古くから残る建物の分布について調べ、寺や神社などの建物は古くから大切に残されていることを理解する。⑬	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大田区内の古くからある建物は、どこにあり、どのようなところなのだろうか。 ● 大田区内の古くから残る建物の分布やどのような建物なのかについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・池上本門寺というお寺がある。 ・大森貝塚という大昔に住んでいた人がごみ捨て場として利用していたところがある。 ・今の第一京浜国道は、東海道という有名な道として、多くの人が通行していた。 ○ 古くから残る建物の分布について、地形や交通などと関連付けて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・池上本門寺は、土地が高いところにあり、その周りは古くからあるお店が多くある。さらに、石屋や花屋など、寺に関係するお店が多くある。 	<p>◎大田区の地図</p> <p>◎古くからある建物の分布が分かる地図</p> <p>◎池上本門寺、穴守稲荷神社の鳥居の写真</p> <p>◎Google マップ(ストリートビュー)</p> <p>【知技①】 ノートの記述内容から「大田区にある古くから残る建物の分布について、地図などの資料から情報を集め、読み取り、古くから残る建物は、人々に昔から大切にされ、残されていることを理解しているか」を評価する。</p>
見学を通して、大田区各地域の様子を理解する。⑭⑮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大田区内の各地域の様子は、実際はどうなっているのだろうか。 ● 見学(バスでの区内巡り)を通して、区内各地域の様子を調べる。 ● 実際の様子を、タブレット端末を用いて記録し、観察して気が付いたことについて話し合う。 	<p>◎記録カード</p> <p>【知技①】 記録カードの記述内容から「大田区の地形や土地利用、交通の広がり、公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して見学し、必要な情報を集め、読み取り、大田区の様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>調べたことを基に、ガイドマップにまとめ、大田区の大まかな様子を理解するとともに、大田区の特徴やよさを考える。⑯⑰</p> <p>まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地形や土地利用、交通、公共施設、古くからある建物、埋立地の様子などで学んだことを重ねると、どのようなことが分かるのだろうか。 ○ 「しらべる段階」で作成した白地図を複数枚重ね、地形、土地利用、交通、公共施設と古くから残る建物の分布について気が付いたことを話し合う。 ● 大田区のガイドマップを作る。 ○ 作成したガイドマップを交流し合い、大田区の様子について、場所ごとの様子を比較して考えたことをまとめる。 ● 学習問題に対する自分の考えをノートに書く。 	<p>□ これまでに学習した地形や交通などと土地利用を関連付けたり比較したりして考えられるように助言する。</p> <p>□ これまでに学んだことや見学した際に集めた資料などを基に、ガイドマップを作成する。</p> <p>◎大田区白地図</p> <p>【知技②】 ガイドマップの記述内容から「調べたことを白地図にまとめ、大田区の様子を大まかに理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】 ノートの記述内容から「大田区の様子について、場所ごとの様子を比較して違いを考え、調べたことや考えたことを表現しているか」を評価する。</p>
	<p>大田区は、高い土地があったり、低い土地があったり、埋立地があったりしている。古くからある建物もあり、場所によっていろいろな様子がある。</p> <p>また、人々が買い物をしやすいように駅の近くにお店が集まっていたり、消防署や交番、公共施設などはどの場所にも行き渡るように建てられていたりするなど、人々の工夫があ</p>	

9 本時における指導（11/17時）

(1)本時の目標

大田区の土地利用と交通の広がりに関連付け、それらの特徴や様子について考える。

(2)本時の展開

	学習活動（○） 予想される児童の反応（・）	□教師の手だて【評価】 ◎資料
導入	○本時のめあてを確認する。 交通と土地利用のつながりを見つけよう。	
展開	○交通の広がりや土地利用を関連付け、気が付いたことをノートに書く。 ・駅の周りに店が集まっている。 ・大きな道路など、道に沿って店が一直線に並んでいる。 ・高速道路や空港の近くに大田市場がある。 ・高速道路や空港の近くに工場が多く集まっている。 ○気が付いたことを、グループや全体で共有する。 ○気が付いたことを基に、どのようなつながりがあるのかを考える。 ・工場の近くに埠頭があるのは、工場で作ったものを船で運んだり、材料を工場に届けたりすることが早くできるからだと思う。 ・高速道路や埠頭の近くに大田市場があるから、すぐに商品を大田市場に届けたり、大田市場からお店に届けたりすることができると思う。 ・駅は多くの人利用するから、たくさんの人に買ってもらえるように、お店が集まっていると思う。 ・商店街のように、道に沿ってお店が並んでいることで、歩きながらいろいろなものを買えると思う。	◎土地利用図 ◎交通の地図 □児童が白地図として記入してきたラミネートフィルムを重ねるよう助言することで、土地利用と交通を関連付けて考えられるようにする。 ◎蒲田駅と周辺の商業施設の写真 【思判表②】 ノートの記述内容から「大田区の交通の広がりや土地利用と関連付け、場所ごとの様子を考え、調べたことや考えたことを表現しているか」を評価する。
まとめ	○本時を通して分かったことや考えたことをノートに書く。 ・駅の近くに商店街が固まってあるところが多く、交通と土地利用は、とても関係していると思った。 ・高速道路の出入り口の辺りに工場がたくさんあり、交通と土地利用のつながりがあることが分かった。	□板書する際は、子供が発見した具体例をいくつか書き、その下に「別々に調べたことを比べたり、繋がりを探したりすると、新しく分かることがある」と抽象的な事柄を書いておくことにより、今後の学習において、本時の考え方を振り返り、生かせるようにする。